

# くらしのメニュー おたより 111号

令和4年1月1日

私のひとりごと

石丸博巳

新年明けましておめでとうございます。

ご家族おそろいで、令和4年の新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、本年もご家族皆様が多幸の年であることをお祈り申し上げます。

旧年中は、私共石丸ハウスセンターに対しまして暖かいご厚情を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。本年も相変わらずのご支援をよろしくお願い申し上げます。



2年前からのコロナ感染は日本ではようやく落ち着いてきたみたいに見えますが、世界的には新しい変異株も現れて、まだまだ感染が収まる気配が見えてきません。元の日常に戻るのはいっと先になるのでしょうか。

昨年12月13日に、「今年の漢字」で「金」が選ばれ、京都清水寺の森貫主が揮毫されている報道がありました。大変な一年だったなと思っていたのですが、大谷翔平選手が大リーグで大活躍してMVPに選ばれたり、オリンピックで金メダルラッシュになったり、藤井聡太さんが最年少四冠達成など素晴らしい活躍があった事で選ばれました。

今回でこの「おたより」は111号です。1月の「おたより」だし縁起の良い数字だなと思います。そして、よくも続いたものだと感心します。でも、もっと続けたいと思っています。最後に書くころには楽しい日常になっていることを信じて書いていきたいと思っています。

まだ、建築資材が入ってきません。

コロナが発生してから、世界的な半導体不足の中で、未だに入らない資材があります。もちろん建築だけではなくあらゆる分野でこのような現象が起こっているわけですが、発注しても入荷予定すらわからないと返事が来ってしまうのです。

右の欄にある今月の写真紹介でのJ・Y様も写真ではわかりづらくなっていますが、実は照明器具は仮のものを取付けてあるのです。それまでの工事では普通に納入されていたので、注文したら、「納入は来年の2月です」と返事がきました。照明器具でも天井に埋め込むダウンライトと言う種類のものは非常に入りづらくなってしまっています。J・Y様にはお詫びして、仮の照明器具で一旦お引渡しをさせて頂きました。これがいつまで続くか心配です。

## 今月の写真紹介

住宅リノベーション

三国町北本町 J・Y様



### 施主様の言葉

子供たちも成人し、家を離れましたが、孫たちを連れて遊びにきます。でも、家全体が寒いし、特にお風呂は狭くて本当に寒いので「リフォームして、とにかく家を暖かくしたいね!・・・」と話していましたので、子供や孫たちが来て楽しくなるようなリフォームを試みようかと計画しました。



築50年。6帖の和室が2部屋続きであって、台所は4帖間しかなく、浴室は畳一枚分でした。

リフォームをすると言っても、素人ですからどのように計画できるのかわからず、とにかく専門の工務店に相談することにしました。

「和室を洋間にして、広いキッチンとリビングにしたいの。お風呂も広くして暖かくしたいの」と言う条件で設計見積りを依頼しました。

何とか、思い通りの計画が出来たみたいなので工事に取り掛かりました。途中でいろいろと変更もありましたが、思い通りに完成して、先日引越を致しました。

子供達も手伝いに来てくれましたが、以前の家しか知らない子供たちは驚いて、「なんて変わったんや、暖かい家になったね!」とみんなで感動してくれました。これから人生はまだ長いです。暖かい家でのんびりと暮らしていきたいと思っています。



J・Y様

ずっと側にいる、という安心。

株式会社 石丸ハウスセンター TEL 82-5533

一級建築士事務所 FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-31 ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

今年(とら年)

寅年は、十二支の3番目にあたり、動物の「虎」に対応します。「寅」は動くの意味で、春が来て草木が生ずる状態を表しています。

また、虎は毛皮の模様から、前身が夜空に輝く星と考えられていた存在で、「決断力と才知」の象徴としての意味もあるようです。